

間伐材を利用し有機的な保水効果を実現。

間伐材利用型植生マット

切土用



森のタローの特徴

森林環境の保全に貢献

製品に装着している木綿(右写真)と木炭粉は、間伐材を原料としております。間伐材を使用することで、間伐による森林の手入れが可能となり、森林環境の保全に貢献できます。



間伐材資材による緑化効果

木炭粉(右写真)は、多孔質構造であるため、土壌の通気性・透水性を改善し、土壌の保水効果と保肥効果の向上、微生物の良好な生育を促します。



肥料袋の下に装着している木綿には、被覆材としての侵食防止・保水・保温効果があり、分解後は有機物として土壌環境を改善します。

製品構造図



製品規格

巾	1.0m
長さ	10m
1梱包	20㎡
肥料袋間隔	50cm

【備考】
アンカーピン・止釘は別売りです。

木本類の生長への配慮

2重ネットの一部に綿糸を使用しております。綿糸が微生物によって腐食し分解することで、木本類等の生長による幹の肥大化を阻害せずに順調な生育が期待できます。

施工実績

平成24年度(補正)予防治山事業(堂村1工区)(秋田県)



施工後



施工後4ヶ月

森のタローの間伐材の使用量

森のタローでは1㎡あたり192gの間伐材を使用しております。これは直径10cmの間伐材6.4cm分に相当します。
(間伐材の平均比重0.38g/cm³とする。)

